

<薬剤に関する認知機能障害に関する質問>

Q

認知症疾患治療ガイドライン 2010 についてご質問申し上げます。

「CQ2-5 認知機能低下をもたらす薬物にはどのようなものがあるか。」の項に、認知機能低下を誘発しやすい薬剤に循環器病薬（降圧薬、抗不整脈、利尿薬、ジギタリス）が挙げられております。これらの治療薬剤は認知症の原因になるのでしょうか？

また、循環器病薬は多くの患者に使用されておりますが、治療患者全てに認知機能低下を来すのではないと考えます。どのような薬剤、あるいは、どんな患者に循環器病薬を使用する際に、特に、気をつけるべきでしょうか？

A.

治療中の循環器系薬剤が“認知症”の原因になるという確固たるエビデンスはありません。しかし、認知症疾患ガイドライン 2010 (CQ2-5) に掲載されている表 1 の薬剤にあるように、循環器系薬剤は、せん妄、混迷、見当識障害、記憶障害などの認知機能が低下する状態を生じる可能性がある薬剤として知られています。

循環器系の薬剤では、抗不整脈薬（ジギタリス、アミオダロン、リドカイン、ジソピラミド、プロカインアミド、キニジン、フレカイニド、メキシレチン、プロパフェノン、トカイニド）や降圧薬ではプロプラノールなどのβブロッカー、メチルドーパ、クロニジン、レセルピン、カルシウム拮抗薬や ACE 阻害薬などがあります。しかし、認知機能低下を引き起こす危険性については高いものから低いものまで様々です。

薬剤による認知機能低下には、潜在的な認知症病変や脳梗塞などの器質的脳病変などの準備因子があり、更に身体疾患などが促進因子としてその背景にある場合が多く、特に、高齢者に注意が必要と思われれます。

ご指摘の通り、表 1 に挙げた薬剤を使用した患者全てに認知機能低下を来すわけではありませんが、認知機能低下を来した患者を診察した場合、あるいは治療中の患者に認知機能低下を認めた場合には、内服中の治療薬剤が何らかの原因、あるいは誘因になっている可能性も念頭に入れながら診療すべきと考えます。

参考文献

1. Bowen JD, Larson ER. Drug-induced cognitive impairment--defining the problem and finding solutions. *Drugs Aging*. 1993;3:349-357.
2. Francis J, Martin D, Kapoor WN. A prospective study of delirium in hospitalized elderly. *JAMA*. 1990;263:1097-1101.
3. Weinrich S, Sarna L. Delirium in the older person with cancer. *Cancer*. 1994;74:2079-2091.
4. Inouye SK. The dilemma of delirium: clinical and research controversies regarding diagnosis and evaluation of delirium in hospitalized elderly medical patients. *Am J Med*. 1994;97:278-288.
5. Moore AR, O'Keeffe TO. Drug-induced cognitive impairment in the elderly. *Drugs Aging*. 1999;15:15-28.
6. Starr JM, Whalley LJ. Drug-induced dementia--incidence, management and prevention. *Drug Saf*. 1994;11:310-317.
7. Flaherty JH. Commonly prescribed and over-the-counter medications: causes of confusion. *Clin Geriatr Med*. 1998;14:101-127.
8. Eisendrath SJ, Sweeney MA. Toxic neuropsychiatric effects of digoxin at therapeutic serum concentrations. *Am J Psychiatry*. 1987;144:506-507.